

# 「踏み出す人に」 想像以上の自分 との出会いを



生徒たちの明るい笑顔とともに、「ごきげんよう」の挨拶が飛び交う——カトリックの女子校として、70年を超える歴史と伝統を守り続ける聖園女学院中学校・高等学校。生徒一人ひとりを見守り、育てる教育に定評がある同校は、今年新たな教育目標「踏み出す人に」を掲げ、さまざまな取り組みを始めている。その背景やこれからの聖園について、教頭・国際交流部長の下里由香先生にうかがった。



教頭・国際交流部長  
下里 由香 先生

## これからの時代に向けて 新たな教育目標を設定

— 緑に囲まれた素晴らしい環境です。

下里 本校は1946年、「聖心の布教師姉妹会」(当時は「聖心愛子会」)第3代総長聖園テレジアによって設立されました。西に富士山、南に江ノ島を望む高台に位置し、東京ドームのグラウンド部分が6つは入る広大な敷地を有しています。季節の花や鳥の声を身近に感じながら、中学・高校という多感な時期を過ごすのにふさわしい環境だと自負しています。

— 6年間の学びを通して、生徒のどんなところを伸ばしたいとお考えですか。

下里 人は一人では生きていきませんが、まずは神に愛されている存在として自分自身を肯定すること、そして家族や先生、友人など多くの人に支えられ、生かされていることに感謝の気持ちを持って欲しいですね。そのうえで自立した一人の女性として、自らの使命を理解し、社会に貢献してもらいたいと思っています。

— 今年度から「踏み出す人に」という新たなコンセプトを掲げられましたね。

下里 聖園の生徒は、「優しい」「穏やか」といったイメージを持たれることが多いようです。もちろんそれも本校の魅力ではありますが、女性の社会進出が進む時代において、生徒にはよりアグレッシブになって欲しいと思っています。



中3のニュージーランドターム留学

レッシブになって欲しいという思いもありました。そこで、「将来どんな人になってもいいか、聖園でどんな力を身につけてもらいたいのか」を教員で何度も話し合い、出てきたのが「踏み出す人」という教育目標です。「踏み出す人」という言葉には、自分の可能性を信じ、人や社会との関わりを恐れずに、さまざまな形で自己実現を目指して欲しいという私たちの思いを込めました。

— 合わせて校訓にも新たな解釈が加わりました。

下里 本校には「信念」「精励」「温順」という校訓があります。キリスト教の精神を尊重しながら、より分かりやすく理解していただけるようにしました。たとえば「温順」は、「意見や価値観の違いを越えて、人を受け入れ、世界平和の実現に貢献する」としています。従来のイメージとは違う、より積極性を持った生徒を育て、世に送り出したいと考えています。

## 英語の授業+事前研修+ 現地での体験+ 帰国後の成果発表 全部含めて「留学」

— 新たな取り組みについて教えてください。

下里 国際交流では、新たな研修をスタートさせます。本校では英語の授業をベースに、異文化の中でさまざまな体験をし、帰国後に成果をまとめて発表するというサイクルで留学を考えており、留学先でも「こんなことをやらせて欲しい」と積極的に要望を伝えながら、より充実した内容になるよう努めています。2000年に始まった短期研修は、高



高1の夏休みに行く2週間のカナダ・ウィンザー市短期研修



ウィンザー市役所訪問

フェイス形式で楽しく学ぶ  
[MISONO Canadian Times]



ネイティブ教員による指導

1の夏休みを利用して約2週間、カナダ・ウィンザー市で、1人1家庭にホームステイしながら英語研修や現地高校生と交流するプログラムで、例年多数の生徒が参加しています。また2015年から始まったターム留学は、中3の1月中旬から3月末にかけて、ニュージーランド・オークランド市内のカトリック女子校5校に留学。英検準2級以上が条件ですが、毎年15名前後の生徒が参加しています。

さらに今年度からは、高1の1月から11月末までのほぼ1年間、ニュージーランド・ネイピアで学ぶプログラムを設けました。最初の2週間、市内の語学学校で学んだ後、現地の Secondary College で学びます。英検2級以上、5教科の成績が5段階で4以上という条件ですが、1年間異文化の中で現地の生徒と一緒に学ぶことは、貴重な経験になると思います。チャレンジしやすいよう、ターム留学共に支給型奨学金も用意しており、興味を示す生徒も増えていきます。

— 留学経験を通して、生徒はどの成長しているのでしょうか。

下里 積極性や自立心が養われる、帰国後の発表を通してプレゼンテーション能力が向上する、学びのモチベーションが高まるなどの効果を実感しています。



ラウンジでの自習風景

特にニュージーランドターム留学では、卒業した一学期、二学期ともに難関私大の外国語や国際交流などの学部、学科に進学しました。進路選びや自分の興味を追究する上で、留学経験が大きく影響したと考えています。新しく始まった1年留学でも、留学を体験した生徒はもちろん、周りの生徒にもいい刺激を与えてくれると期待しています。

## 自然に英語に触れられる環境で 4技能をバランス良く習得

— お話にあった英語教育の特徴を教えてください。

下里 基礎から丁寧に始められる環境を整えている一方で、英語力の高い生徒に向けて、取り出し授業(ACEクラス)を行っています。通常コースの内容に加え、すでに培ってきた英語力にさらに磨きをかけ、「話す」「書く」「読む」の4技能をバランス良く向上させるカリキュラムを用意。週6時間の授業のうち、4時間をACEクラスでネイティブ教員が指導。残り2時間は通常クラスで、日本人教員が徹底した文法指導を行っています。もともと帰国子女等を想定していたのですが、国内生の中にも「私もACEの授業を受けたら」と積極的に英語に取り組む生徒も出てきており、中1の開始時は2人だった現在の中3生は6人に増えています。すでに全員が英検2級以上に合格しています。

— 学内で英語に親しむ環境があるそうですね。

下里 本校では留学生を積極的に受け入れており、日常的に英語に触れることができます。また、昼休みや放課後にネイティブ教員と英語を使って歌・ゲーム・トークを楽しんでもらう「Misono English Academy」も設置しています。アットホームな雰囲気の中、リラックスして英会話を楽しめるので生徒の人氣が高く、週替わりでテーマを設けて活動している放課後は予約制になっています。ハロウィンやクリスマスなどには、



Misono English Academyの様子

部屋全体がイベント一色。英語力だけでなく英語圏の習慣や文化に自然に接する場になっています。

## 放課後を活用して 考える、勉強する習慣を — 新たに放課後支援にも取り組まれています。

下里 放課後支援を始めたのは、勉強する習慣を身につけて欲しいと考えたからです。帰宅後、スマホやテレビに時間を費やし、気付いたら19時、20時という生徒も珍しくないようです。スマホ万端の時代だからこそ、自分で考える機会、学ぶ機会を用意することも大人の責任だと考え、支援を始めました。

具体的な支援の一つは、図書館の解放。18時まで残って勉強できるように、女子大生のメンターも在籍するようにしました。大学の様子や勉強のやり方などを聞くことができると好評で、毎日50人くらいの生徒が残って勉強しています。もう一つは、高校生対象の講座の開催です。16時30分から19時まで、70分の講座を2コマ行っており、外部講師の手も借りながら、授業でカバーできない部分やより受験に特化した内容を学べるよう工夫しています。受講は有料ですが、受講しやすい料金に設定しており、移動時間も不要。定期試験との両立もできるのでアンケートでも満足度が高いようです。今後一層充実させていきたいと考えています。

— 最後に、小学生、保護者に向けてメッセージをお願いします。

下里 子どもは多くの可能性を秘めた宝石の原石です。さまざまな出会いを通して、自分の世界を広げていけるのが中高の6年間です。新たなコンセプトの下、子どもたちの可能性を信じ、一緒に歩んでいきたい。そして自立した社会で輝き続ける、魅力ある女性を世に送り出したいと思っています。本校のこれからは、ご注目ください。

聖園女学院  
中学校・高等学校  
MISONO JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL



〒251-0873 神奈川県藤沢市みその台 1-4 TEL:0466-81-3333 FAX:0466-81-4025

### 説明会・公開行事(中学)

- 学校説明会  
11月2日(土) 30日(土) 9:30~11:30
- ナイト説明会(要予約)  
10月18日(金) 18:00~19:30
- 帰国生説明会(要予約)  
11月20日(水) 9:30~11:00

- 授業見学会(要予約)  
10月8日(火)・1月21日(火) 10:00~11:30  
※1月21日(火)は6年生限定
- 聖園祭  
9月21日(土)・22日(日)  
※教員・在校生・保護者による入試相談コーナーあり

- はじめての聖園女学院(要予約) ※6年生限定  
11月26日(火)・1月10日(金) 9:30~11:00
- フリスマスキャロル ※藤沢市民会館にて開催  
12月20日(金) 14:00~15:30
- フリスマスタプロ(要予約)  
12月21日(土) 14:00~15:30



ネイティブ教員と楽しみながら英語に触れることができる